



ココボロ倶楽部 No.85

平成23年9月版

【発行】 札幌市私立幼稚園PTA 札幌市私立幼稚園連合会
〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目 札幌市生涯学習総合センター
(社)札幌市私立幼稚園連合会 http://www.s-youchien.or.jp/ TEL.011-671-3590 FAX.011-671-3591

回で玉入れ参加は終わりになってしま
いますが今後この「ふれあい交流会」
を続けて頂き、たくさんの方々に参加
して楽しんで頂きたいと思ひます。
最後に、準備・運営をされていた大
会関係者の皆様、本当にありがとうございました。

東区

あかじ幼稚園
納 麻衣子

7月12日、札幌市私立幼稚園PTA連
合会「ふれあい交流」が晴天のなか、
つどいで行なわれました。
私は、今年初めての参加でしたが、「玉
入れ」というものへの意識が、チームによ
うに高まっていたのだなあ。と、と
ても驚きました。きょうこの日の為に練
習を重ねてきたのだらうと思われる「や
る気満々のチーム」、この日を無事迎
えられたことにまず安心をし「出場する
ことに意義を持つチーム」。そこで私な
りに思ったことが、やる気満々チームば
かりだと、大会が殺氣立ったムードになっ
てしまいかも知れないし、全てのチーム
が、出場することだけに意義を唱えてい
たら、大会の盛り上がり欠けてしま
う気がして…。やはり世の中、全てにお
いてバランスが大切なんだなあ。と、改
めて気づかせていただいた日でした。

私達あかじ幼稚園は、笑顔で楽し
くをモットーに参加させていただきました
した。久しぶりに清々しい汗を流し、
園長先生からの差し入れのお弁当。と
ても充実した一日にすることができま
した。
最後に、大会運営に携わって下さっ

た皆様、ご参加・応援下さった皆様、
本当にありがとうございました。

南区

札幌みずまい幼稚園
矢野 貴恵子

10年前に門をくぐり、少し年の離れ
た三人目の久しぶりな幼稚園行事…
P連の玉入れも7年ぶりの参加となり
ました。
当日、会場に乗り込んだ時すでに第
一試合が始まるようでした。自
家用車組は揃っているものの、園バス
で到着するメンバーがなかなか来なく
試合前の待機場所に一人で整列。「お一
人ですか?」係の方の少々驚いたよう
な問いかけに「今、来ますので!」内
心かなり焦っていました。自分に言
い聞かせるように答えました。

そして、無事にメンバーが次々に到
着!休む間もなく揃いの法被に着替え、
すぐに試合へ。本当にギリギリのタイ
ミングだったと思います。結果は早々
に籠が立ち上がり周りのチームに拍手
を送る立場でしたが、爽やかな?汗も
かいて達成感がありました。
帰路の園バス利用が限られた時間の
為、結果も聞かす
に会場を後にして
しまいました。が、
大会運営に携わっ
たたくさんの方々
へ、お礼申し上げ
たいと思ひます。
楽しい時間をあ
りがとうございま
した。



世界が賞賛する日本人

P連会長 大野 浩人



いまや夏の恒例行事と
なりつつある《ふれあい
交流会》今年も2300名を越え
る参加者の皆様に支えら
れ大盛況のうちに、無事終えることができました。
本日に有難うございました。そして本日に多くの保
護者の皆様が、子ども達の健全な育ちのために、P
TAという昨今何かと嫌われ者になりつつある組織
を支えていただいていることに、心の底から感動と
感謝を覚えました。
東日本大震災において世界の人々が日本に多くの
救いの手を差し伸べると同時に、日本人の規律正し
さと類まれなる道徳観に驚嘆を覚えたようです。
事あるごとに現代の日本の大人に対して苦言を呈
してきた私は、考えを改め己の未熟さを思い知らさ
れると同時に、過去の自らの発言に関して申し訳な
さを感じながらも、自分が日本人であることを改めて
誇りに感じております。

日本を訪れる海外からの旅行者は、普段我々が当
たり前と思っていることに驚きを感じることも多い
ようです。
例えば、自動販売機が屋外に設置されていること、
電車の車内で乗客が居眠りしていること、その電車
が寸分のスレも無く時間通りに目的地に到着するこ
と、商談の相手が時間通りに現れること、そして大
多数の子どもが自分の本当の両親と同じ家で暮らし
ていること。

われわれ日本人にはどれも当然のことであるにも
かかわらず、他国の方からは少なからず驚きをもつ
て受け止められることが多いようです。これこそが
規律を重んじ、公共心と道徳心をしっかりとし身に着
けた国民性に裏打ちされているからなのです。

ご協力ありがとうございました

16年度	102,779名
17年度	81,093名
18年度	87,473名
19年度	92,784名
20年度	95,829名
21年度	86,205名
22年度	84,563名
23年度	集計中

皆様の貴重な署名を有意義
に活用して、次の世代を創
りあげる担い手である子
ども達の為に運動を続けて
まいります。



話題をおって

今年4月から、30年間子どもたちを
見守ってきた園舎を新築し、認定こども
園「まなび」として生まれ変わりました。
新しく導入された給食室では、栄養士さ
んとともに毎日温かい給食が作られるよ
うになりました。そして、子育て支援と
して未就園児を対象に子どもたちと親子
でのふれあいの場が設けられ、ベテラン
先生のいる中、地域の方がごなたでも遊
びに来られるようになりました。
民間の幼稚園としては初めてとなるO
歳児からの受け入れとなった園ですが、
保育園の子どもたちと、幼稚園の子ども
たちが一緒にクラスを編成し、ともに遊
んで学んでいる姿はなんの隔りもあり
ません。
「まなび」では、ひとりひとりの瞳が輝
くように、という理念を元に大人の目線
を子どもに近づけていきたいと思います。



平成23年度 広報委員

編集長 佐野 淳子(中央区・S・T・M)
副編集長 小笠原倫子(手稲区・さむらい)
委員 前田多美子(白石区・菊水うち)、
高橋 幸子(東区・栄光)、
本間 薫(厚別区・いちご)、
坂本 陽子(西区・幸明)、
赤石こども(南区・真駒内)、
坂本 瑞貴(豊平区・第一幼稚園)、
岡崎 由美(東区・聖三力エール)

札幌私幼P連定期総会

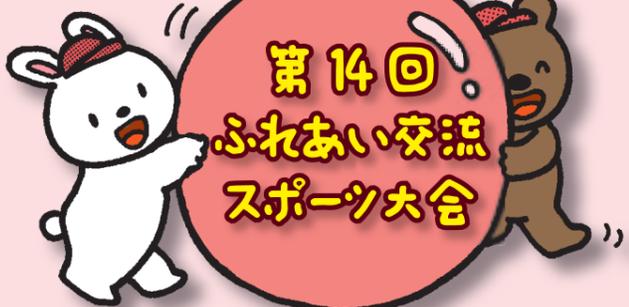
平成23年度札幌私幼定期総会が平成
23年5月24日(火)、札幌市生涯学習
総合センター「ちえりあ」6階講堂を
会場に開催されました。
六条祐子手稲区理事の「開会の言葉」
で開幕し、大野浩人P連会長の挨拶の
後、ご来賓の札幌市教育委員会町田隆
敏教育次長と札幌幼芝木捷子会長から
ご祝辞をいただきました。
秋山亜由美豊平区理事から定足数
確認報告があり、富丘つくし幼稚園森
山正美園長を議長に選任し、議事が進
められました。平成22年度事業及び会
計収支決算について事務局からの報告
があり、併せて伊藤洋子監事から適正
に処理される旨の監査報告がありまし
た。

さらに、平成23年度事業計画及び会
計収支予算についても提案があり、原
案どおり議決されました。
役員選任では、大野浩人会長が再
任され、副会長に中山津苗、岡崎由美、
平田さゆりの各氏と札幌私幼副会長の前
田元照氏が再任、新任の白井晴彦氏と
5名の会長推薦が、満場一致で承認さ
れました。
その後新旧役員紹介があり、高野
ゆう子厚別区理事の「閉会の言葉」を
もって、定期総会が無事終了しました。
総会では、「イコール運動」での署名
10万人達成など子ども達にとって、よ
り良い環境づくりに向けて、札幌私幼P
連の活発な運動展開を新たに誓い合
いました。

ふれあい交流会 試合結果

順位	幼稚園名	順位	幼稚園名
1	新琴似 (北区)	7	札幌ルーテル (中央区)
2	琴似中央 (西区)	8	札幌創価 (豊平区)
3	丘珠 (東区)	9	聖ミカエル (東区)
4	茨戸メリー (北区)	10	しろいし (白石区)
5	札幌あおば (厚別区)	11	さわらび (手稲区)
6	さわらび (手稲区)	12	ひばりが丘明星 (厚別区)

第14回 ふれあい交流 スポーツ大会



厚別区

第2あつべつ幼稚園
新 雅美

晴天の暑さの中、今年も7月12日に「ふれあい交流会」がつどいむで行われました。幼稚園歴五年目の私は過去に一度応援で行きましたが今年は初めて選手として参加しました。

私たち第2あつべつ幼稚園は昨年同様、幼稚園のキャラクター「やすらぎくんジャー」Tシャツを着て、参戦してきました。そして、こちらもまた昨年同様練習一度もしてません。(笑)練習した方がいいのかなあ、玉が入るのかなあとちょっと不安でした。そんな事を感じながら会場へ着くと、久しぶりにドキドキ。緊張感が…(笑)他園の気合いの入ったプレーを見ながら「せーのー」って言うてから投げようねってその場で作戦会議。かけ声は、自声の大きい私が言う事になり、声の大きさを

手に「上位入賞!もしくは好成績を目指そう!」という無謀にも近い目標を持って、本番に挑みました。というのも、それまで練習は一度も行わなかったからです。試合直前に少し不安になったので、かけ声の打ち合わせだけ済ませました。試合が近づくとつれて次第にスポーツ魂に火がつき、みんなの瞳がキラキラして、緊張感の中でも気持ちひとつになったのを実感しました。

いざ、試合が始まると全員が声を合わせ、汗を流し、呼吸を忘れてしまうくらい真剣に取り組む姿があり、最後には大笑いしながら、玉入れの試合を終えることができました。

結果は、上位入賞の目標は果たせませんでした。20位と43位という歴史の中では好成績を挙げることができ、偶然にも見事同じ景品を両チーム共が頂くことができました。この時、少しの打ち合わせでも結果を出せる、我が幼稚園のお母様方の底力を感じました。

振り返ってみると、あの短い時間の中で生まれた連帯感や団結力を感じる機会は、この先多く経験することは無いと思います。あの日のメンバーの笑顔も、玉入れも、私にとって幼稚園生活での良い思い出になりました。このような経験ができたのも、子どもの存在があったおかげだと、改めて実感しました。また、さゆり幼稚園の明るく優しいお母様方と共に戦えたことを心から嬉しく思います。

最後になりましたが、大会の準備や運営にご尽力いただきました関係者の皆様、ご来賓の皆様にご挨拶すると共に、今年ご

が役に立つ時
がきました!

そして本番。
一回目、予想
以上にたくさ
ん玉が入り、
みんな大興



奮!!二回目も、一回目よりはちよっぴり少なかったけれどみんな大満足、そしてとても嬉しかったです。みんなと心が一つになって楽しめた事に感謝します。私自身楽しい思い出がまた一つ増えました。また、あまりにも楽しかったので来年も出ようか考え中です。楽しい時間をありがとうございました。

最後になりましたが大会運営に携わった皆様ありがとうございました。

北区

茨戸メリー幼稚園
九島 順子

今回、二度目の出場となりました。昨年「練習」というものを開始し、これは毎年恒例にしたいと思っていたので、もちろん私の希望で行いました。園には玉入れのカゴと玉をレンタルして頂き、わがままを言うて園のホールをお借りし、園児の声援のなか汗をかいて練習できた事に感謝しております。

さて当日。わが幼稚園の2チームはお揃いのTシャツでもないため目印もなく、初対面のメンバーとの挨拶、おまけにドームの人工芝にレジャーシートを敷かないまま直に座るなんて他のチームにはなかったでしょう…チームのみなさん準備不足ですみませんでした。

参加下さいました、さゆり幼稚園のお母様方にも深く感謝申し上げます。

千代田区

さわらび幼稚園
市川 早希子



「ふれあい交流会」がつどいむで行われ、さわらび幼稚園は45名・3チームで参加しました。

練習では、かごの高さに驚き!自分の玉が届かない事に落ち込み…。太ももとの腕が痛むダメージを受けながらも各チーム結束を固めた練習でした。園長先生から「楽しくね!」の言葉に火がつき、画用紙でチーム名にちなんだかぶり物「キャンディー」わらび・かとちゃんハゲスラ」を作製。大会当日は園児達のかわいい声援に見送られ会場へ向かうバスの中でかぶり物をお披露目し大盛り上がりで会場へ到着。かとちゃんに身を包み乗り込んだ私への冷たい視線も右から左へ受け流し、開会式・ラジオ体操終了後のズラの中はすでに汗だく…。そしていよいよ玉入れ本番、各チーム練習通りの素晴らしいチームワークで懸命に投げ込んだ結果、なんと!!2チームが決勝に進む事が出来ました。チームの団結力が実を結び順位は1-16チーム中、キャンディーズが6位!!かとちゃんス1位!!と大健闘しました。参加してくださいました皆さん楽しい時間をあり

練習の甲斐あって、周りの雰囲気や他チームの声援などに影響されることなく、練習通りに声を揃えて玉を投げることが出来ました。これは決勝にける!と密かに思いつつもあまり自信はありませんでしたが、見事1チームが決勝進出でした。

やるからには昨年の7位入賞を超えたいと願う中、決勝進出の12位から順位を聞いても園の名前が呼ばれない。7位も呼ばれない。4位で呼ばれた!みんなビックリしながらも、帰りには石屋製菓の賞品欲しかったね♪なんて生意気なことを言いながら帰る足取りはさわやかで、来年の玉入れに向けて話しをした素敵な時間でした。

園の先生方を始め、つたない役員を指導して下さいました関係者の皆様、そして練習から参加してくれたチームの皆さんに感謝致します。ありがとうございました!

白区

菊水いちい幼稚園
阿部聡子&村上明美

7月12日、つどいむで札幌市内にある幼稚園から116チーム(1チーム15人)の他、関係者や応援の方も多数来ていて、思った以上に熱気に満ち溢れている雰囲気でした。

我が幼稚園からは、A・Bの2チームが出場し、お揃いのバンダナと手持ちの衣装でヤル気満々、ぶっつけ本番で挑みました!目的は親睦を図る事とはいえ、いざ試合が始まれば各チーム気合入ります。急遽、作戦会議とリハールでテンションも上がり、一致団結

がとうございました。

豊平区

ふくずみ幼稚園
堀内 理美子

たかが玉入れ、されど玉入れ。特別な道具も不要・年齢不問。ルールもみんなで籠に向かって玉を投げる。とても単純で簡単に思えるこのスポーツ。いざ挑戦してみると、なんとも難しい。頭上の籠に玉が届かない?なぜ出来ない?

今年こそ上位入賞。狙うぞ優勝!と熱い思いが集まった有志達。練習ではイメージ通りに行かず悪戦苦闘。おまけに、普段使っていないあちこちの筋肉が悲鳴をあげる始末。

でも…玉入れがこんなに楽しく、熱くなれるスポーツだったなんて…。単純だからこそ面白い。15人全員の息が合わなければ、玉も私達にそっぽをむく。

大人の大人が「せえのおで」と声を合わせ、玉を拾い、投げる。ただそれだけの事に夢中になった。1人では決して出来ず、楽しくない。仲間と参加するから楽しいのだ。

練習後も本番終了後も、玉入れって楽しいね!来年も絶対参加したい!と、普段怒ってばかりのお母さん達の顔も、汗ま

となりました。ママのパワーはスゴイ!!(笑)

両チームとも全力を出しきりました。結果は予選敗退に。しかし、気持ちの良い汗を流し、和気藹々と玉入れを楽しめた事は何よりも財産になりました。チーム全員が一つの事をする「みんな力を合わせる楽しさ」に触れられた。もちろん沢山山応援してくれた皆様にも感謝、感謝です!!

大会後、子どもから「幼稚園から玉入れ応援していたよ!」という言でまたまた感動!!(感涙)翌日、ちよっぴり筋肉痛になりましたが(笑)、皆が口々に「ぜひ、来年もまた参加したいね!」と言って、今から意欲満々です。

最後に、大会運営等に携わって下さいました皆様ありがとうございました。



中央区

さゆり幼稚園
進藤 由紀

今年も札幌市私立幼稚園PTA連合会玉入れ交流会が行われました。私は今回初めての参加でしたので、会場の熱気や、応援の方々を含めた参加者の人の多さに大変驚きました。

今年、2チームで参加することになった私達は、それぞれの服装の色を統一し、チームで決めた色のハチマキを片

みれの笑顔であった。

西区

あつま幼稚園
堀口 由佳



7月12日に行われた毎年恒例の「ふれあい交流会」がコミュニティドーム「つどいむ」で行われました。

天気にも恵まれ暑さの中、あつま幼稚園は競技参加30名2チーム、応援参加が子どもを含め22名の52名になりました。開会式が始まり会長さん達のお言葉を頂いた後、去年はエアロビでしたが今年はラジオ体操で皆体をあたためました。

あつま幼稚園は数年前からこのふれあい交流の玉入れに参加させて頂いてるのですが、例年特に練習する事もなく楽しみながらお母さま達との仲を深めていこうという思いが強いせいか試合直前でも応援席でも全員がリラックスモードでした。

玉入れが始まり、合図のピストルがなると私達は必死に玉を投げ上げ続けていきましたが、なかなか玉はカゴに入らず残念な結果になってしまったのですが、試合が終わった後に皆からは「ひさびさの玉入れ楽しかった。」と声が聞こえてきた瞬間とても嬉しく思いました。

来年、私の子どもは卒園なので、今